

# 学校だより



## めざす児童像

- 自ら学び、考える子
- 温かい心をもつ子
- 豊かに表現する子

平成26年9月5日 NO. 8

## 今年度の前期学校評価特集号

二学期もはじまり、子ども達は学校のリズムを戻すのにちょっと時間がかかっているようです。

さて、前期(7月)に行った学校評価(児童・保護者アンケート、教師自己評価)の結果について報告いたします。夏休み中に評価結果を分析し、これから取り組んでいくことを「確かな学力」「豊かな心の育成」「健全な心と体の育成」の面から検討し、学校外の学校関係者評価委員(学校評議員並びに育友会役員の皆様)の方々を交え、具体的な対策を考えました。その際に頂いたご意見を真摯に受け止め、指導方法を工夫しながら教育活動に当たっていききたいと思えます。またその内容を教職員で共通理解しました。二学期以降の教育活動で取り組んでいきます。

紙面の関係上、教師自己評価から報告いたします。

### <確かな学力の形成>

	重点項目	児童の実態	具体的な取組
授業規律	「白峰っ子の学び方10のやくそく」の定着を図る	・チャイム行動はできるようになってきました。また、学習用具の準備も向上しました。 ・話し方・聞き方等の学習規律が十分ではありません。	「白峰っ子の学び方10のやくそく」の項目について学校全体で取り組みを継続し、できたことは褒めて、できない項目は全校をあげて重点を置いて取り組みます。
表現する	自分のことばで表現することができる	・小さな集団でも相手を意識して表現することが十分にできていません。	① 自分の思いや考えをノートに書き、書いたことをもとに表現させます。 ② 授業時間内にまとめやふり返りの時間を持ち必ず表現する機会を保障します。
書く力	6つの実践評価項目を意識した「書くこと」の指導に取り組む	・学力調査では、本年度も条件をもつ記述式の問題に間違いや無回答が多く見られました。また、書く速度や量に個人差が大きく、書くこと自体に抵抗がある児童も見られます。	① 上記同様、授業のまとめやふり返りを書く時間を必ず設定した授業づくりに努めます。 ② 原稿用紙を使用した条件つき作文指導や日記・生活作文指導等に取り組みます。 ③ 書く観点を明確にする指導を徹底します。 ④ 水曜の朝学習は「書く」プリントに取り組みます。

#### 【評価結果に対する対策】

**授業規律**：授業規律は、チャイム行動や学習用具の準備などできることが増えましたが、学年や個人により課題があります。「学び方10のやくそく」について継続して指導します。重点項目の設定やチェック表等を活用した学校全体の指導をさらに徹底します。

**表現する**：ノート指導については友達の見本などにより向上していますが、相手意識・目的意識をもった表現につながる指導が不十分です。小人数でも学習形態等の表現につながる指導の工夫が必要であると考えます。二人以上は立派な集団と考え、授業中に話し合う機会を多く持ちます。また、学んだことを文や図にかいてまとめることを今まで以上に意図的に指導します。自分のことばで表現する指導については引き続き指導を工夫していかなければなりません。それを発表・交流につなげ、「話し方・聞き方」のめざす姿を掲示し、指導と正当な評価により頑張りを認めます。

**書く力**：授業の終わりのまとめ・ふり返りを書かせることは以前から意識して取り組んでいます。しかし、条件を満たす作文についてはまだ不十分です。朝学習や家庭学習を活用した継続的なミニ作文指導を行い、日々の生活作文指導も大切に取り組みます。また、水曜日の朝学習はこれまで同様、内容を工夫し全校で「書く」活動に取り組みます。



## <豊かな心の育成>

	重点目標	児童の実態	具体的な取組
あいさつ	自分から進んであいさつする子を育てる	・少しずつですが、自分からあいさつができる子やあいさつを返してくる子が増えています。もっともっと定着や広まりがほしいと思います。	① 教師から積極的に声をかけ、できている児童を褒めます。家庭への啓発も重視します。 ② 生徒指導主事・なかま委員会を中心に実のあるあいさつ運動に取り組みます。 ③ 生活目標「ことばづかいをただそう」(4・8・9・1月)を児童自らが実践する方策を検討します。
思いやり	自他を思いやれる子を育てる	・現在不登校の児童は0です。 ・「自分のルール」で友達に接し、言葉づかいや態度が乱暴になることがあり、トラブルに繋がる場合があります。 ・ちくちく言葉もたまに聞かれます。	① 月1回の生活いきいきアンケートで、児童の実態を把握し、早めに面談など個別指導を行い、早期に対応します。 ② 道徳・あいさつ運動・人権週間・各教科・行事等全教育活動で思いやりの心を育てます。 ③ 教員自身が言葉遣いに敏感になり、ふわふわ言葉をたくさん使います。
感性を豊かに	地域素材(人・こと・もの)を活用した学習に取り組む	・地域には、地域学習にふさわしい素材が多くあり、その良さを知っている児童も多いのですが、まだまだ活用には至っていません。	① 地域の自然・環境・暮らしを見つめた俳句詠みを行います。 ② 二学期以降、地域の方を講師とした学習を工夫・展開します。 ③ 読書カードの記入や本の持ち帰りにより、家庭での読書機会を増やします。

### 【評価結果に対する対策】

**あいさつ**：家庭・地域においても気持ちの良いあいさつができるよう、学校での取り組みだけでなく、保護者と連携した取り組みを行います。

**思いやり**：生活いきいきアンケートを活用した、児童一人一人と話す機会を大切にする。「いじめを許さない校内体制」を引き続き形成していきます。言葉づかいに気をつけ、人を傷つけない言動に心がけるよう指導を徹底します。

**感性を豊かに**：地域の『人・こと・もの』の有効な活用をさらに進めます。俳句にも取り組みます。朝読書の習慣はついてきました。今後は家庭での読書の機会を増やします。そして質の向上を図っていきます。

## <健全な心と体の育成>

	重点目標	児童の実態	具体的な取組
生活習慣	規則正しい生活習慣の形成に努める	・早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムができている児童が多くいます。ただ、ゲーム等で遅寝の児童がいます。 ・学校における身の回りの整理整頓は向上しています。また昨年と比べて学校内がきれいになりました。	① 個人の生活時間の実態を把握し、見直しなど家庭と連携した指導を行います。 ② 筆箱・机の中・教室の整理整頓を定期的に学級全体で確認します。また、「割れ窓理論」などの啓発を行います。
力の向上	体育の時間や休み時間に進んで体を動かす子を育てる	・体育の授業、休み時間を問わず元気に遊ぶ児童が多くいます。ただ、休み時間は野球やドッチボールなど特定の遊びが中心です。そのためかボール投げに関する体力・能力は高いが、柔軟性や瞬発力が低い傾向にあります。	① 体育の授業では十分な運動量を確保し、柔軟性や瞬発力を高める運動を多くします。 ② 特定のスポーツだけでなく、少人数でもできる運動遊びや多様な動きを啓発します。そして全校に広めます。また「いしかわボクチャレ」に挑戦します。

### 【評価結果に対する対策】

**生活習慣**：規則正しい生活については、ご家庭の協力のおかげでほぼできています。身の回りの整理整頓や学習用具の準備については、個人差が大きく表れています。ご家庭と連携して定着するよう徹底を図りたいと考えます。

**体力の向上**：体育の授業だけでなく休み時間も積極的に体を動かす子が多くいます。新体力テストの結果では、上体おこしなどに課題が残ったため、体育の時間を中心に、さらに指導を工夫していきます。また、多様な種類の運動の指導も行います。

### <学校関係者評価委員会(学校評議員、育友会役員にて構成)のご意見から>

「書く指導」「あいさつ」「読書」「家庭学習」「思いやりの心の育成」についてご意見をいただきました。学校の具体策を進めながら家庭の協力が不可欠であるとのことでした。一例として家庭読書は家に本があり大人が読む姿を見せること、言葉づかいは学校同様お互いを大切にする気持ちが大切である、などのご意見でした。また、できたことを褒めてさらに伸ばすことも重要であるのご意見をいただきました。あいさつに関しては水泳やスキーなど地域の活動の際にはできるようになっていると褒めていただきました。あいさつは、さらに広め、深めたいと思います。

※続いて、「児童アンケート」「保護者アンケート」の結果と分析・対策の報告です。